

令和7年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立玉出幼稚園

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和6年度は、就学前教育カリキュラムパイロット園所研究を受け、これまで以上に教職員間で幼児理解を深めたり、保育の振り返りを丁寧に行ったりすることで、学びの多い年となった。その学びを今年度の教育活動にも継続して活かし、子どもたちの成長につなげていきたい。また、未就園児活動や小学校交流を通して、様々な人との関りをもつことのできた1年となった。今年も地域との連携を深めていき、地域の中で子どもたちを育てていけるよう努めていきたい。子ども一人一人の実態を把握し、発達段階に応じた保育内容の工夫に努め、子どもや保護者の思いに寄り添った園づくりを目指したい。教職員が一丸となり、保護者や地域の方から信頼を得られる幼稚園となるように努めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、安全な生活のための約束を知らせ、子どもの安全への意識を高めるような指導をしていますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は互いを思いやる気持ちを育てていますか」「お子さんは、いろいろな遊びや活動に自分から進んで取り組み、楽しんでいきますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園はお子さん一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をしていますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の育ちについて分かりやすく伝えていきますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは、自分なりに考えたり、工夫したりして遊ぶことを楽しんでいきますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは健康的な生活習慣を身に付けていきますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、日々の保育の中で、保育内容や環境の工夫に努めていますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、地域や学校と連携し、交流することに努めていますか」の項目に肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、安全な生活のための約束を知らせ、子どもの安全への意識を高めるような指導をしていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は互いを思いやる気持ちを育てていますか」「お子さんは、いろいろな遊びや活動に自分から進んで取り組み、楽しんでいきますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園はお子さん一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をしていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の育ちについて分かりやすく伝えていきますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは、自分なりに考えたり、工夫したりして遊ぶことを楽しんでいきますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは健康的な生活習慣を身に付けていきますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、日々の保育の中で、保育内容や環境の工夫に努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、地域や学校と連携し、交流することに努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

令和7年度末の保護者アンケート結果については、以下の通りである。

- ・「幼稚園は、安全な生活のための約束を知らせ、子どもの安全への意識を高めるような指導をしていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は96%であり、目標を達成した。
- ・「幼稚園は互いを思いやる気持ちを育てていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は92%、「お子さんは、いろいろな遊びや活動に自分から進んで取り組み、楽しんでますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は94%であり、目標を達成した。
- ・「幼稚園はお子さん一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をしていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は92%であり、目標を達成した。
- ・「幼稚園は就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の育ちについて分かりやすく伝えていきますか」の項目に最も肯定的な回答の割合は98%であり、目標を達成した。
- ・「お子さんは、自分なりに考えたり、工夫したりして遊ぶことを楽しんでますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は96%で目標を達成した。
- ・「お子さんは健康的な生活習慣を身に付けていますか」の項目に最も肯定的な回答をした割合は79%であり、目標を達成しなかった。
- ・「幼稚園は、日々の保育の中で、保育内容や環境の工夫に努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をした保護者の割合は94%であり、目標を達成した。
- ・「幼稚園は、地域や学校と連携し、交流することに努めていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は94%であり、目標を達成した。

以上の通り、教育活動に対して保護者の理解を得られていることが分かった。目標を達成できなかった項目もあるので、次年度その項目に重きを置きながら、様々な保育内容を考えていきたい。

大阪市立玉出幼稚園令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、安全な生活のための約束を知らせ、子どもの安全への意識を高めるような指導をしていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は互いを思いやる気持ちを育てていますか」「お子さんは、いろいろな遊びや活動に自分から進んで取り組み、楽しんでいきますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園はお子さん一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をしていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【1-6 安全教育の推進】</p> <p>安全な生活ができるように、子どもの実態に応じた指導法を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、安全点検を実施する。 ・安全に生活するためのきまりについての指導を学期に1回以上行う。 ・様々な災害を想定した避難訓練の年間計画を立て、毎月実施する。 	A
<p>取組内容② 【2-1 道徳教育の推進】</p> <p>いろいろな人と関わりながら、意欲的に活動し、自己肯定感を高められるような保育内容を工夫する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりできるような誕生会を月1回行う。 ・週1回以上、保育の打ち合わせを実施し、子どもの実態を把握する。 	B
<p>取組内容③ 【2-4 インクルーシブ教育の推進】</p> <p>一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内委員会を学期に1回以上行う。 ・学期に1回以上、専門機関と連携をとり、幼児理解に努める。 	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① ・年度末の保護者アンケートで「幼稚園は、安全な生活のための約束を知らせ、子どもの安全への意識を高めるような指導をしていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は、96%であり、目標の85%は達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全点検は予定通りに行えた。危険な箇所や不備をその都度改善して、安全管理に努めた。 ・学期に1回、全学年で集会を行い、園庭の遊具の使い方や室内での過ごし方を知らせ、子どもの実態に応じた指導ができた。 ・年間計画通り、毎月の避難訓練を実施できた。子どものねらいとともに、教職員のねらいを設定し取り組んだことで、教職員一人一人の役割が明確化し、臨機応変に動く 	

という意識が高まり、より責任を持って取り組めるようになった。

- ・子どもたちが話に集中できるように、視覚物を用いて避難後の話し合いを行った。
- ・一時預かり保育においても避難訓練を実施し、どんな状況においても子どもの安全を守るための教職員の動き方を確認することができた。

- ②
- ・年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は互いを思いやる気持ちを育てていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は92%、「お子さんは、いろいろな遊びや活動に自分から進んで取り組み、楽しんでいきますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は94%であり、目標の85%は達成した。
 - ・月1回、計画案を立て誕生会を実施している。誕生会では、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気付いたりできるような言葉かけをすることで、心の育ちにつながることができた。また、一人一人が大切な存在であることに気付けるような保護者との遊びを工夫してきた。
 - ・保育の打ち合わせを通して、子どもの実態の把握をしてきたことで、子どもたちのよさを認める保育を実践してきた。
 - ・週1回の打ち合わせ時間の確保が難しい時もあったが互いに意見を出し合うことで、保育内容の工夫につながった。
- ③
- ・年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園はお子さん一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をしていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は96%であり、目標の85%は達成した。
 - ・日々の保育の中で、話し合いを行い、子どもたちが自分の思いを伝えたり、相手の思いを知ったりする機会を設けた。このような機会を繰り返し設けることで、自分とは違う思いや考え方もあることを知り、他児への理解につながった。また、相手の思いを他児に受け入れられることが多くなったことで、子ども同士で支え合う姿が見られるようになった。
 - ・学期に1回園内委員会を行い、一人一人の実態を共通理解し、支援にあたった。
 - ・関係機関との連携では、作業療法士や言語聴覚士から支援方法を学び、教職員の資質向上につながった。

次年度への改善点

- ①
- ・今後も指導方法を工夫し、教職員の安全への意識を高める。
- ②
- ・教職員間での話し合いをより多くもち、子どもがいろいろな人と関わりながら、自己肯定感が高められる保育の工夫をする。
- ③
- ・子どもの実態を把握し、教職員が連携して支援できる体制を整える。

大阪市立玉出幼稚園令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の育ちについて分かりやすく伝えてありますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは、自分なりに考えたり、工夫したりして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは健康的な生活習慣を身に付けていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容① 【3-1 就学前教育カリキュラム等に基づいた教育の推進】</p> <p>幼稚園教育要領や就学前教育カリキュラム、大阪市立幼稚園参考教育課程を基に保育実践し、保護者への発信方法を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育カリキュラムを活用しながら、日々の保育案の立案や反省を行う。 ・学期1回、教育課程や指導計画について見直しを行う。 ・月1回、クラスだより、掲示物、ホームページで保育内容を発信する。 	A
<p>取組内容② 【4-1 言語活動・理数教育の充実】</p> <p>様々な遊びや人との関わりを通して、考えたり、工夫したりする力を育むような保育内容や指導法を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回、行事の打ち合わせを行う。 ・週1回、遊びの環境構成や教育的意図をもった働きかけについて話し合う。 	A
<p>取組内容③ 【5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <p>子どもが自ら基本的な生活習慣を身に付けようとする態度を養えるような指導法を工夫する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回、保健指導を行う。 ・月1回、保健だよりや保健室前掲示板で、保健指導の内容を知らせる。 ・月1回、食べ物に興味関心をもてるように、食に関する情報を毎月ほけんだよりに掲載する。 ・週1回以上、健康的な体づくりにつながる活動を取り入れる。 	A
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① ・年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の育ちについて分かりやすく伝えてありますか」の項目に最も肯定的な回答の割合は、98%で、目標の85%以上を上回った。</p> <p>・日案や週案の作成には、「就学前教育カリキュラム」を活用した。その際、子どもの実態を踏まえながら、「知」「徳」「体」をバランスよく育むことができるように、教育的意図をもった働きかけを記載し、保育に生かした。</p>	

- ・教育課程や指導計画の見直しについては、学期ごとに行い、見直し、修正した。
- ・月末には、子どもたちの様子の写真とコメントを掲示し、子どもの育ちについて発信した。
- ・わかりやすく読みやすいクラスだよりを月1回作成し、発行した。
- ・教育活動について時期を逃さずホームページに掲載し、発信した。
- ・毎月掲示したものを学期末に全て掲示したり、パワーポイントを作成し、子どもたちの育ちを「知・徳・体」に沿って伝えたりした。保護者も発言する機会を設けて話を進めたことで、保護者の教育内容への関心につながった。また、養護教諭から、保健に関する内容を掲示物やパワーポイントを使いながら伝えた。

- ②
- ・年度末の保護者アンケートで「お子さんは、自分なりに考えたり、工夫したりして遊ぶことを楽しんでますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は、96%であり、目標の85%は達成した。
 - ・子どもの実態を踏まえて、保育の話し合いを教職員間で行ったことで、他のクラスの子どもと関わり、異年齢の友達と一緒に遊ぶ方法を工夫する姿が見られるようになった。
 - ・子どもの興味や関心、時季に合わせて、泥・水遊びを存分に楽しめるようにしたり、運動遊具を出したりするなどして、園庭の環境を整えたことで、子どもが継続して遊び、遊びを進めていくために考えたり、工夫したりする姿につながった。
 - ・作品展の技法や生活発表会の劇遊びの題材など、行事に関することについて、教職員間で話し合いを重ねたり、それぞれのクラスの取組を見合ったりすることで、子どもの発達段階に応じた保育について理解を深められた。

- ③
- ・令和7年度末の保護者アンケートにおいて「お子さんは健康的な生活習慣を身に付けていますか」の項目に最も肯定的な回答をした割合は79%以上であり、目標の85%を達成することができなかった。
 - ・保健指導の内容は、各学年の課題や発達段階に応じた指導内容を工夫して行った。

	3歳児	4歳児	5歳児
4月	発育測定の方法、手洗い・うがい	歯磨き指導	早寝・早起き・朝ごはん
5月	トイレの使い方 歯磨き指導 健康診断事前指導	視力検査事前指導 健康診断事前指導	トイレの使い方 健康診断事前指導
6月	ラップタオルの使い方	プライベートパーツについて	歯磨き指導
7月	熱中症対策と水分補給	熱中症対策と水分補給	熱中症対策と水分補給
9月	くじら列車に乗ろう(早寝・早起き)	くじら列車に乗ろう(早寝早起き)	くじら列車に乗ろう(早寝早起き)
10月	目を大切にしよう	目を大切にしよう	目を大切にしよう
11月	トイレの使い方と手洗い仕方	トイレの使い方と手洗い仕方	ふわふわことばとちくちくことば
12月	鼻のかみ方	うんちの話	ふわふわことばとちくちくことば (振り返り)
1月	みんなのからだげんきにおおきなあれ(強くて丈夫な体を作ろう)	みんなのからだげんきにおおきなあれ(強くて丈夫な体を作ろう)	みんなのからだげんきにおおきなあれ(強くて丈夫な体を作ろう)
2月	てあらいうがいめいじんになろう	てあらいうがいめいじんになろう	てあらいうがいめいじんになろう

- ・けんこうカレンダーや約束カードを配付し、家庭でも健康的な生活習慣が身につけられるよ

うにした。

- ・保健指導の内容を降園連絡時に担任から伝えることで保護者へ周知できた。
- ・毎月の保健だよりに保健指導や、食や栄養に関する内容を記載した。

次年度への改善点

- ① ・ホームページをタイミングよく活用し、教育活動について発信する。
- ② ・行事の打ち合わせを、見通しをもって計画的に行う。
- ③ ・保護者にアンケートをとり、家庭での課題を幼稚園も理解し、保健指導につなげていけるようにする。

大阪市立玉出幼稚園令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、日々の保育の中で、保育内容や環境の工夫に努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p> <p>○ 令和7年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、地域や学校と連携し、交流することに努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。</p>	B
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【7-2 教員の資質向上・人材の確保】</p> <p>研修会に参加したり、園内研修会で学び合ったりしたことを保育に生かし、教員の資質向上に努める。</p> <hr/> <p>指標 ・園内研究保育の年間計画を立て、年4回以上実施する。 ・月1回以上、教材研究をする。 ・研修会で学んだことを伝達し合う。</p>	B
<p>取組内容②【9-1 教育コミュニティづくりの推進】</p> <p>地域や異校種との連携を図り、園の教育内容を発信する。</p> <hr/> <p>指標 ・地域との交流計画を立て実施する。 ・交流したことを、学期2回以上ホームページや掲示物で発信する。</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① ・年度末の保護者アンケートにおいて「幼稚園は、日々の保育の中で、保育内容や環境の工夫に努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合は、94%であり、目標の85%は達成した。 ・年間計画に沿って園内研究保育の実施をした。（6月、9月、11月、12月、1月、2月） ・月1回以上、保育について教職員間での出し合い、教材研究を行った。 ・教材研究したことを保育で生かした。 ・教職員それぞれが、希望の研修を受講し、口頭での伝達や資料の回覧を行い、教育の資質向上に努めた。</p> <p>② ・年度末の保護者アンケートで「幼稚園は、地域や学校と連携し、交流することに努めていますか」の項目において最も肯定的な回答をした割合は、94%であり、目標の85%は達成した。 ・地域の方を招いて、伝統野菜の勝間南瓜を植えたり、ヴァイオリンコンサートを行ったりなど、地域との交流を行うことができた。 ・近隣の小学校とは、合同避難訓練をしたり、たこあげや作品展の見学をしたりなど、昨年</p>	

以上の交流を行うことができた。

- 子ども同士の交流だけでなく、教職員が近隣の小学校の授業を参観した。また、小学校の教職員に5歳児の様子を見に来てもらったことで、幼稚園生活での学びが小学校教育にどのようなにつながっていくのかを知ってもらうことができた。
- 交流内容について、その都度ホームページにて発信することができた。また、月1回のクラスごとの写真掲示においても詳しく発信できた。

次年度への改善点

- ① ・年間計画に沿って、今後も園内研究保育を実施し、保育の質の向上に努める。
・研修後には、口頭や回覧で伝達し、教員の資質向上に努める。
- ② ・無理なくできる交流の仕方を、異校種と相談して行えるようにしていく。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立玉出幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

本年度の幼稚園の自己評価結果は妥当である。

最終評価では、保護者の教育活動に対しての理解度が高いことがわかった。ただ、目標を達成できていない項目もあるが、次年度は家庭との連携をより図りながら、そこに重きを置いて取り組んでいただきたい。

今後も地域や保護者と一丸となって一層の教育推進を図られたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末の保護者アンケートにおいて

- ・「幼稚園は、安全な生活のための約束を知らせ、子どもの安全への意識を高めるような指導をしていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- ・「幼稚園は互いを思いやる気持ちを育てていますか」「お子さんは、いろいろな遊びや活動に自分から進んで取り組み、楽しんでいますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- ・「幼稚園はお子さん一人一人の実態に応じた支援をし、互いが認め合える学級経営をしていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

○達成状況の評価は妥当である。

○毎月の誕生会などを通して、感謝の気持ちを育てられるよう取り組んでいただきたい。

○小学校にあがるまでの時期の教育が大切。その中での先生一人一人の配慮が行き届いているのがよくわかるアンケート結果だった。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末の保護者アンケートにおいて

- ・「幼稚園は就学前教育カリキュラム「知・徳・体」の育ちについて分かりやすく伝えてありますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- ・「お子さんは、自分なりに考えたり、工夫したりして遊ぶことを楽しんでいますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- ・「お子さんは健康的な生活習慣を身に付けていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

○達成状況の評価は妥当である。

○保護者からの感謝がよく見えるアンケート結果だった。

○生活習慣では、幼稚園でできているが、家では甘えからできていないということがある。幼稚園で指導してもらっていることは理解できているので、評価としての数字にとらわれなくてよい。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度末の保護者アンケートにおいて

- ・「幼稚園は、日々の保育の中で、保育内容や環境の工夫に努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。
- ・「幼稚園は、地域や学校と連携し、交流することに努めていますか」の項目に最も肯定的な回答をする保護者の割合を85%以上にする。

○達成状況の評価は妥当である。

○意味のある教職員同士の交流ができた。異校種の教育活動や指導を知ることで、教職員の視野が広がる機会となった。今後も継続して行ってほしい。

○地域や異校種との交流は、子どもたちが楽しみにしているので、これからも継続して行ってほしい。

3 今後の学校園の運営についての意見

忙しい日々ではあるが、教職員の思いをすり合わせながら、教育を進めていくことを大事にしてほしい。今後もきめ細やかさをもち、地域・保護者との連携を密にして、保育に取り組んでほしい。

